



## 【入選作品】障がいを持つ息子と母の想い ～信じてくれてありがとう——母と息子の心の扉が開いた日～

パンフレットをご覧になっていたところにお声がけしたのが、3人のお子さまを育てるシングルマザーのY様でした。社会人になった長男T様の自立を応援したいという思いから、「保険も自分で備えてほしい」と相談に来られました。

しかし、T様は精神障害者保健福祉手帳を持っており、他の保険会社では「加入できない」と言われたことがあるそうです。

「お調べさせてください」とお伝えし、少しお時間をいただくことになりました。

慎重な対応が必要だと感じていたところ、可能性のある商品が見つかり、T様に直接お会いしてお話を伺うことになりました。

Y様からは「障がい者扱いを嫌うので、絶対に言わないでほしい。心を開かない子なので慎重にお願いします」と言われ、私自身も不安を抱えながらも、しっかりとお約束しました。

当日、T様は笑顔でご挨拶くださり、相談が始まりました。

一時的な選択にも問題はなく、無事にご契約いただくことができました。

翌日、Y様との電話でいただいた言葉が、今でも心に残っています。

「実は保険クリニックに行くまでに、他で『入れる保険はない』と即答されたり、雑に扱われたりして、息子を傷つけないように私が探そうと思っていたけど、それもしんどくなって、もう諦めようかと思っていた。そんな時にここを見つけて、2回目に会うまでは半信半疑だったけど、すぐに確信に変わった。気づいたら誰にも言ったことないような話をして、一緒に泣いたり、子どもたちのことだけでなく、自分のことも真剣に考えてくれて嬉しかった。」

そして、T様が帰り道に話してくれたという言葉も教えてくださいました。

「お母さんは普段、自分たちのことを守るために頑張ってくれて、傷ついてきたからこそ他人を信頼することがない。でも、●●さん（コンサルタント）のことは信頼してるのが話からわかったから、大丈夫な人なんやと思った。自分もあの人と話してわかった。」

Y様は最後にこう言ってくださいました。

「この言葉を聞いたのも●●さんのおかげ。ありがとう。一生懸命親切に対応してくれる●●さんが大好きです。」

この言葉を胸に刻みながら、私はこれからも、お客さま一人ひとりの人生に寄り添う存在でありたいと思っています。